

創立 40 周年記念式典

弊社は今年で創立 40 周年を迎え、去る 2023 年 12 月 1 日(金)にウェスティン 仙台にて『創立 40 周年記念式典』を開催いたしました。従業員一同、会場の 雰囲気にも多少のまれながら、代表取締役の挨拶を皮切りに式典が始まりました。初めは映像と共にこれまで 40 年間の歩みを振り返りました。創業者や企業の 成り立ちを知らない従業員も増えてきた中で、改めて振り返る時間を作ること ができ、良い機会であったと感じております。動画を見終えた後は、表彰を行いました。表彰内容は、永年勤続表彰(30 年と 10 年)・功労賞・この度 40 周年 記念としオリジナル日本手ぬいぐいを製作するにあたり、従業員にデザインを集い 選考された作品にデザイン賞を受賞いたしました。永年勤続 30 年は 8 名、10 年は 4 名、功労賞は 3 名おり、記念品を贈呈しました。式典後は懇親会兼忘 年会を行いました。全体としての忘年会は実に 4 年ぶりとなりました。コロナの 流行により自粛していたこともあり、入社してから初参加だと言う従業員も数名。 親睦会の余興として、全員参加のトーナメント形式でじゃんけん大会も行いま した。参加者 46 名中、上位 4 名が景品、14 名が商品券をゲットしております。 普段なかなか話す機会がない従業員同士でも親睦を深め、大変盛り上がりを見 せた忘年会となりました。40 周年を迎えた弊社ですが、今までお客様と共に 地道に歩んできた結果であると思います。これからもお客様に愛される企業で あるべく精進して参ります。また、この度記念品をお願いした今治タオルの作製 をお願いしました「伊織」様、日本手ぬいぐいを作製いただいたさいました「はまれや」 様、嬉しく思っております。40 周年記念式典の晴れ舞台に輝かしい彩を添えてい



調査・試験を通して人々の暮らしを守る

建設技術センター社報

建技季報

2024 年
新年号
(第八版)

発行：建設技術センター

受賞者インタビュー

40周年記念として、永年勤続30年・10年・デザイン賞を受賞した方(代表者)へインタビューさせていただきました。

永年勤続 30 年代表

Q1. 30 年の思い出をお聞かせください。

(一番記憶に残っている業務や辛かったこと、楽しかったことなど何でも良いです。)

A1. 一番記憶に残っている業務は、某ゼネコノ業務です。締固め試験は、手書きスタートでした。Excel・Wordが発売された頃だったので、ソフトの使い方を覚えるのに必死だったことを思い出します。また、報告書として提出するのですが、当社担当者から納品前日に「図面の色塗りしていない…」と告げられ、生まれて初めて徹夜をしました(笑)

楽しかったことは、社員旅行でした!初の海外旅行を経験させていただき最高の思い出です。

Q2. 現在働いている従業員へメッセージをお願いします。

A2. 大人になればなるほど時間が過ぎるのが早く感じます。あっという間に 30 年経っていた・・と言うのが正直なところです。皆さんにお伝えする事があるとすれば、目標を設定して未来の自分のために自己投資して欲しいと思います。資格取得や勉強して身につけた知識は自分だけのものです。これからの建設技術センターを支えていくのはあなた達一人一人の力です。期待しています。

永年勤続 10 年代表

Q1. 10 年の思い出をお聞かせください。

(一番記憶に残っている業務や辛かったこと、楽しかったことなど何でも良いです。)

A1.最初頃は現場等でよく怒られていました。静岡県に一月近く出張できたのが良かったです。

Q2. 今後の抱負をお聞かせください。

A2. 資格取得です。

デザイン賞受賞者

Q1. デザインはどう思いつきましたか？

A1. 昔、柱状図を手書きをしていた頃に、砂

のドットやシルト・粘土などを点線と横線で描いて切って貼り付けたりと、手作り感のある報告書を作成していました。当時その模様が、織や染めなどの伝統工芸に似ているなあと感じていましたので、今回のデザインとして思いつきました。今回の柱状図はネットで公開されている会社付近の柱状図を基にデザインしました。

Q2. 受賞しての感想をお聞かせください。

A2. 他に良いものがあったので、正直選ばれるとは思っていませんでした。

[illegible]

株式会社建設技術センター

<https://www.ctc-kengi.co.jp/>

本社
〒984-0016
仙台市若林区蒲町東 20 番地の 12
TEL(022)287-4011 FAX(022)287-4010

卸町東分室
〒984-0002
仙台市若林区卸町東 5 丁目 6-6
TEL(022)349-9331 FAX(022)349-9332

QC 活動意見交換会 with JR 東日本テクノサービス様

去る 2024 年 1 月 16 日、JR 東日本テクノサービス様と QC 活動意見交換会を実施いたしました。これまで社内のみで実施しており、社外ではどのように活動をしているのか知る機会がありませんでした。しかし JR 東日本テクノサービス様からお声を掛けていただき、このような機会をいただけたこと心より感謝申し上げます。数名の参加ではありましたが、大変勉強になり、参考にさせていただきたいことが沢山ございましたので、各サークルに持ち帰り、これまで以上に士気を上げたいと存じます。この場をお借りして改めて感謝申し上げます。ありがとうございました！！



『地盤工学の実務におけるコーン貫入試験』の編集 委員会の構成にて弊社の名前が掲載されました。

CPT 技術協会様で、世界の多くの技術者に親しまれ「実務技術者の座右の書」となっている「Lunne,Robertson,Powell」の著書、Cone Penetration Testing in Geotechnical Practice」を翻訳し、出版いたしました。翻訳原稿の作成に当たり、数社で分担しながら弊社でも翻訳の作業に携わり、編集委員会の構成として名前が刻まれております。既に発売されており、ご購入可能です。想いがこもった本書の一部になったことに従業員一同誇りに感じ、私どもも多くの実務技術者に読んでいただけることを祈念しております。

編集委員会の構成		
所属会社	氏名	役職
地盤試験所	高橋 千代丸	会長
	佐藤 雅紀	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
フイルムアンドソック エンジニアリング	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
タカチヨウエンジニアリング	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
川崎電機	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
建設技術センター	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事
	佐藤 孝幸	幹事



趣味の達人コーナー 寄稿大募集！
趣味の達人コーナーでは皆様からの寄稿を募集中です！
「我こそは！」と思う方はぜひご応募ください！
応募先 株式会社建設技術センター CSR 企画室 高橋宛
hoharu.fakahashi@ctc-kengi.co.jp



趣味の達人 第八回 趣味を楽しんでいる方にインタビューするコーナー

連載 本コーナーは趣味を楽しんでいる方をご紹介しますコーナーです。
第八回目は地盤環境課の H さんにインタビューさせていただきました。

- Q1. 野球歴はどのくらいですか？現在も野球はやられていますか？**
A1. 15 年くらいです。小・中学と野球部でした。大学生の頃から草野球チームに入っていますが、今は見るほうが好きなので最近はあまりおこなってないです、...
- Q2. いつ頃から野球をされていますか？**
A2. チームに所属しプレーし始めたのは小学 4 年の頃です。
- Q3. ポジションはどちらですか？**
A3. 小学生からずっと外野です。難しい打球を取れたいとずっと憧れています。

- Q4. きっかけは何だったのでしょうか？**
A4. 父親がやってたことや、楽天イーグルスができたことで野球にふれる機会が多かったことがきっかけです。
- Q5. 魅力はなんですか？**
A5. プレーの魅力はうまく打てた時にボールが飛んでいくのを見るのが気持ちいいですね。観戦の方では、応援するチームが得点した時や勝利した時の球場の雰囲気は現地では味わえない醍醐味です。また、野球観戦用に購入したカメラで撮影した写真を見返すのも楽しいです。
- Q6. プレー中の失敗談はございますか？**
A6. サインを見ておらず、バントをしなかったことです。
- Q7. 野球観戦はどのくらいの頻度で行かれていますか？**
A7. 2023 シーズンは仙台で約 30 試合を観戦し、福岡に野球観戦に行きました。ビジター観戦も楽しかったので、来年はもっと行きたいです。また、3 月には WBC を見に行きました。
- Q8. 国内外関係なく、現在一番好きな選手は？**
A8. 楽天の浅村栄斗選手です。力強いバッティングが魅力の選手で、試合勝利後のイベントで浅村選手とハイタッチしたことは今年一番の思い出です。



- Q9. 現在一番、どちらの球場でどの球団を実際に観戦していますか？**
A9. 北海道のエスコンフィールドに楽天の試合を見に行ってみました。いざれば 12 球団の本拠地を制覇したいです。
- Q10. 最後に皆さんに野球観戦する際のポイントを教えてください。**
A9. 同じ野球観戦でも、外野席で応援したり、グラウンドに近い席でじっくりプレーを見たいと、席によって楽しみ方が違います。試合のみならず、球場グルメやイベントなど野球に詳しくなくても楽しめることが多いので、自分なりの楽しみ方を見つけることがポイントだと思います。

